

命と人権を守る

校長 嶋見 靖之



学校のプランターにはチューリップの花が咲き、風に吹かれて仲良く揺れています。新型コロナウイルス感染拡大防止対策として4月16日に緊急事態宣言が出され、相川小学校は4月25日～5月6日の間、臨時休業となります。子どもたちは感染防止のため外出を自粛します。そのような中でも季節は確実に進んでいることを、チューリップを見て感じます。近所に見える風景に季節や自然を感じ、心の癒やしとしたいところです。

命を守ること、命を守るために医療体制を守ること。これらのために現在様々な対策が講じられています。同時に人権を守ることも大切です。人権が守られなければ命を守れないのです。新潟県はホームページで県民に次のように呼び掛けています。

新型コロナウイルスの感染が拡大する中、感染した方や対策に携わった方々等に対して、インターネット・SNS上における誹謗中傷、様々な場面での心ない言動が広がっています◆こうしたことが行われると、感染を疑われる症状が出て、検査のための受診や、保健所への正確な行動歴・濃厚接触者の情報提供をためらってしまうなど、感染拡大の防止に支障が出る恐れもあります◆新型コロナウイルス感染症を理由とした不当な差別、偏見、いじめ等があってはなりません。また、新型コロナウイルス感染症に関して掲載されている様々な情報の中には、不確かな情報や事実とは異なる情報もあります◆県民の皆様におかれては、こうした情報をむやみに転載・拡散することなく、厚生労働省や県などの公的機関が発信する情報を確認いただくとともに、人権に配慮した冷静な行動をとっていただくようお願いいたします◆そして、不安な気持ちに負けず、それぞれの立場で今できることを行っていきましょう！（◆印は段落を表します）

私が注目したのは、最後の段落にある「不安」という言葉です。不安が人権を揺るがす言動につながるのではないかと心配になります。また不安は集団心理で拡散する傾向をもちます。子どもたちは、何かしらの不安をもって感染拡大防止対策の中を生活しています。すべての大人が支え合って不安の払拭に努めたいものです。

そして、子どもたちのあらゆる気になる言動が、もしかすると何か不安や困り感をもっているのではと考え、受け止め寄り添っていく姿勢を常に大切にしたいものです。

（学校運営協議会で承認されたグランドデザインを次ページに掲載しています）